



2024年度医療系国家試験結果

助産師、理学療法士、作業療法士、救急救命士で合格率100%を達成！

京都橘大学（京都市山科区、学長：岡田知弘）では、2024年度の医療系国家試験において、助産師、理学療法士、作業療法士、救急救命士が合格率100%を達成しました。

本学では低回生から医療人としての倫理観や教養を育むカリキュラムを設け、医療現場に不可欠な“人間力”を養成しています。また、5つの医療系学科が連携して行う、たちばなチーム医療科目群（多職種連携教育）の実施により、実践的なチーム医療の力が自然と身につきます。

さらに、最新設備を備えたシミュレーションコモンズや実習室を活用し、実践力を鍛え、現場で即戦力として活躍できるスキルの習得を重視したカリキュラムを展開しています。

今回の結果に結びついた背景には、学生一人ひとりの学習進度の把握を行い、模擬試験の結果をもとにした、苦手分野克服のための個別指導体制を整えたことや、学生同士のグループ学習・教え合いの環境を整備したことなどがあります。

また医療・福祉・行政機関との連携を強化し、京都府内を中心に、病院・福祉施設・救急医療機関・保健所・助産施設などの多様な実習先で、現場の専門家から直接指導を受けていることも今回の結果につながった大きな要因として考えています。

京都橘大学は、今後も医療・福祉・行政機関とのパートナーシップを強化し、「知識」と「実践力」を兼ね備えた医療人を育成し、社会を支える医療従事者を輩出できるよう、より一層、教育の充実を図ってまいります。

【各国家試験の結果詳細】

- | | |
|--|---|
| ・ 看護師（第114回看護師国家試験）
受験者数89人、合格者数88人、合格率98.9% | ・ 助産師（第108回助産師国家試験）
受験者数7人、合格者数7人、合格率100% |
| ・ 保健師（第111回保健師国家試験）
受験者数17人、合格者数16人、合格率94.1% | ・ 理学療法士（第60回理学療法士国家試験）
受験者数59人、合格者数59人、合格率100% |
| ・ 作業療法士（第60回作業療法士国家試験）
受験者数31人、合格者数31人、合格率100% | ・ 救急救命士（第48回救急救命士国家試験）
受験者数45人、合格者数45人、合格率100% |
| ・ 臨床検査技師（第71回臨床検査技師国家試験）
受験者数71人、合格者数70人、合格率98.6% | |

●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：前川 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp



■看護学部長・征矢野 あや子教授コメント

看護学部では、国家試験対策を目的とした学習を3年生から開始しています。特に、「看護学部国家試験対策委員会」は、学生が中心となって運営する組織であり、国家試験合格を目指す中で自主性を育む重要な取り組みとなっています。例年、卒論ゼミごとに選出された代表が委員となり、4年次に活動を行います。教員や職員はサポート役として関わりますが、学習計画の立案やゼミ単位の学習会の運営、課題解決は学生が自ら考え、進めてきました。こうした積極的な取り組みが実を結び、全国平均を上回る合格率を達成しています。今後も、誰もがどのようなコンディションでも合格できるよう、健やかに学びを積み重ねる力を育むカリキュラムの強化に努めてまいります。

■健康科学部長・堀江 淳教授コメント

この度、理学療法学科、作業療法学科、救急救命学科が国家試験において100%の合格率を達成したことを、心より嬉しく思います。この結果は、学生一人ひとりの努力と献身、そして教員陣の質の高い教育へのコミットメントの証です。私たちの教育プログラムが、学生たちを専門的かつ実践的な知識で支え、彼らが理学療法士、作業療法士、救急救命士としての資質を十分に発揮できるよう整えていることを、この成績が示しています。今後も、医療現場で必要とされる高い技術と深い人間性を併せ持った“医療人”を育成していくことをお約束します。皆様の期待に応えるべく、教育の質をさらに高めていく所存です。

【看護学部 特徴】

2005年に開設した看護学部は、関西私立大学のなかでも先駆けであり（京都府内の4年制私立大学では初）、これまで1,549名（2025年3月卒業生までの合計）の卒業生を輩出してきました。「人によりそう看護」を実践する看護師を養成することを目標に、多様で豊富な実習を行っております。考え抜く力と応用力を磨く「シミュレーション教育」や生涯をとおして学びを支える「卒業教育」「大学院教育」など、「時代の変化に対応し、どのような状況でも人によりそう看護を創造し、実践できる看護師になってほしい」という理念のもと教育を行っております。そのために、常に10年先を見据えたカリキュラムを構築し、地域社会に貢献できる人材の養成を行っています。

【健康科学部 特徴】

チーム医療や地域医療を担える判断力や応用力を養う「理学療法学科」、自分らしい生活や社会への復帰を支援できる知識と技能を学ぶ「作業療法学科」、高度な救命技術と医学を総合的に学ぶ「救急救命学科」、診断や治療を支える検査・分析の知識と技術を磨く「臨床検査学科」の4学科から構成されています。

医療系の複数の学科が同一キャンパス内に集結しているため、学生は学部・学科の垣根を超え、在学時から他職種との連携を深め、チーム医療の重要性を学ぶ環境が整っています。

人間の健康を心と体の両面から総合的にとらえ、ケアを必要とする人々をサポートできる人材の養成を行っています。